

Press Release

11月2日(木)報道関係者向け 事前内覧会のご案内

2017年10月17日

北加賀屋の1000㎡工場跡地で大型現代アート作品展

11月3日(文化の日)より、年に一度の一般公開

原画が芥川賞「コンビニ人間」の装丁で知られる高さ6mの立体作品、大阪で初展示

～今、国内外で注目の若手アーティスト 金氏徹平が、北加賀屋の遺構を活かした新作も発表～

一般財団法人おおさか創造千島財団(所在地:大阪市住之江区)は、広さ約1,000㎡・高さ9mの鋼材加工工場・倉庫跡地を活用した「MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)」(所在地:同北加賀屋5-4-48)で保管する大型現代アート作品の一般公開「Open Storage 2017」を、11月3日(金・祝)から26日(日)まで実施いたします。(金・土・日・祝日のみ、計13日間)
4度目の一般公開となる本年のメインアーティストは、京都市在住の現代美術作家 金氏徹平(39歳)。遊園地の廃材から生み出した「White Discharge」や、原画が芥川賞作品「コンビニ人間」(村田沙耶香著)の装丁で知られる、高さ6mの「tower」を大阪で初展示します。さらに、ヤノベケンジら複数のMASK収蔵作品も巻き込む、会場全体を活かしたインスタレーション(展示)や、今年新たにオープンした文化創造拠点『千島文化』(築60年の旧文化住宅)での新作発表も行います。なお一般公開前日には事前内覧会、公開初日には金氏徹平らのトークイベントを開催します。(取材申込書添付)



左)《White Discharge(公園)》2017 MASK 新規収蔵作品 (第9回恵比寿映像祭出展作品)資料提供:金氏徹平

右)tower (THEATER)舞台セット 2017 資料提供:金氏徹平

造船業労働者向けの旧文化住宅(築60年)も会場に

おもちゃや日用品を組み合わせ、新しい存在へと変化させる手法で創作を続ける金氏徹平。2009年横浜美術館にて史上最年少個展作家となり、2010年には若手芸術家に大阪市が贈る『咲くやこの花賞』を受賞。近年は、舞台芸術やファッションなど、美術以外の分野とのコラボレーション活動を国内外で精力的に展開しています。本展でも、他の所蔵作品にも介入し、会場全体を作品と捉え、来場者に非日常の空間と時間を提供します。

また、旧文化住宅(築60年)をリノベーションし、今年新たにオープンした創造拠点「千島文化」内の15㎡の旧居室でも新作を発表。かつて造船業で栄えた北加賀屋の歴史を物語る工場跡(メイン会場)と旧文化住宅、二つの遺構がアート作品として変容し、繋がります。(千島文化は、メイン会場 MASK から徒歩5分)



今年8月にオープンした「千島文化」

本展が、アートの街 北加賀屋を訪れるきっかけに

「芸術・文化が集積する創造拠点」として地域再生を目指した「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」の着手から約8年。アーティストやクリエイターの誘致などに取り組み、今では工場跡や空き家を活かした約40もの創造拠点が広がるアートの街へと変貌を遂げています。年に一度の本展をきっかけに、より多くの人々が北加賀屋を訪れていただくことを目指します。

■本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人おおさか創造千島財団 事務局 担当:木坂、加藤

〒559-0011 住所:大阪市住之江区北加賀屋2-11-8 北加賀屋千島ビル4F

TEL: 06-6681-7806(平日 9:30-17:30) 会期中:06-6681-6170 / FAX:06-6681-6188

Email:mask@chishimatochi.info <http://www.chishimatochi.info/found/mask/>

MASK [MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA] Open Storage 2017 企画概要	
タイトル	Open Storage 2017 ―見せる収蔵庫― 「クリスピーな倉庫/クリーミーな部屋 Crispy storage / Creamy room」
開催概要	<p>【日 時】2017 年 11 月 3 日(金祝)～26 日(日) 金土日祝のみ、計 13 日間</p> <p>【開 場 時 間】12:00-18:00 ※イベント・プログラム開催時は変動</p> <p>【会 場】</p> <p>①MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48</p> <p>②千鳥文化 大阪市住之江区北加賀屋 5-2-29</p> <p>【入 場 料】無料 ※11/18(土)、11/25(土)有料イベント実施時間中は、無料鑑賞エリアが一部となります</p>
メイン・アーティスト	金氏徹平
参加作家(50 音順)	宇治野宗輝、久保田弘成、名和晃平、やなぎみわ、ヤノベケンジ
主催	一般財団法人 おおさか創造千島財団
企画協力・キュレーター	木ノ下智恵子(大阪大学 21 世紀懐徳堂 准教授)
助成	大阪市、芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団、公益財団法人朝日新聞文化財団
企画協力・制作協力	展示構成: dot architects、照明: 高田政義(株式会社 RYU)、関連企画: 山崎伸吾 他
対話型作品鑑賞プログラム監修	京都造形芸術大学 アートプロデュース学科、アート・コミュニケーション研究センター
企画連携	KITAKAGAYA FLEA、IN/SECTS
広報協力	KYOTO EXPERIMENT 2017、京都造形芸術大学 ULTRA FACTORY、一般社団法人 MIWA YANAGI OFFICE、SANDWICH、YAMAMOTO GENDAI 他
各会場へのアクセス	<p>大阪市営地下鉄四つ橋線 北加賀屋駅 4 番出口より徒歩 10 分</p> <p>※JR新大阪方面からは、地下鉄御堂筋線「大国町」駅で四つ橋線に乘換</p> <p>※阪神高速堺線「玉出」出口より約 5 分</p> <p>※近隣に有料駐車場有。</p>
問い合わせ先	<p>一般財団法人おおさか創造千島財団</p> <p>TEL: 06-6681-7806(平日 9:30-17:30)・会期中: 06-6681-6170</p> <p>Email: mask@chishimotochi.info</p> <p>※開催時間、内容、展開会期中の近隣施設イベントの詳細は当財団ウェブサイトに掲載します。 http://www.chishimotochi.info/found/mask/</p>

作品関連プログラム

【プログラム1】オープニングトーク

【日 時】2017 年 11 月 3 日 (金祝)17:00-18:00
 【会 場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)
 【出 演】トーク:金氏徹平、進行:木ノ下智恵子(本展キュレーター)
 【入 場 料】無料 【申込】不要 ▼全席自由

【プログラム2】作品関連企画「おもフェス-FESTIVAL OMOIDE-」

【日 時】2017 年 11 月 18 日 (土)
 【開 演】14:00 ※開場は、開演の 30 分前。ストレージエリアの一般公開は、12:00～13:00 まで。
 【会 場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)
 【出 演】金氏徹平、荒木優光、オオルタイチ、Kazumichi Komatsu、空間現代、GTSVL、contact Gonzo、柴田聡子、テニスコーツ、バレポウイズ
 【コーディネーター】山崎伸吾
 【企画連携】KITAKAGAYA FLEA、IN/SECTS
 【入 場 料】T シャツ付早得割 4,400 円、前売 2,200 円、当日 2,500 円
 ▼高校生以下無料▼全席スタンディング
 【チケット購入方法】Peatix にて販売 <http://omofes.peatix.com>

【プログラム3】作品関連企画 ゲストトーク

【日時・出演者】
 プログラム A : 2017 年 11 月 25 日 (土) 15:00～17:00
 ゲスト：青木 淳(建築家)、モデレーター：家成俊勝(dot architects)
 プログラム B : 2017 年 11 月 25 日 (土) 18:00～20:00
 ゲスト：山下敦弘(映画監督)、モデレーター：九龍ジョー(ライター)
 聞き手：金氏徹平、総合司会：木ノ下智恵子
 ※受付開始は 60 分前。開場は、開演の 30 分前。ストレージエリアの一般公開は、12:00～14:00 まで。
 【会 場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)
 【入 場 料】1,000 円 (1 ドリンク付)。要予約。
 【予約方法】氏名、連絡先を申込専用フォーム <http://urx.red/EeqM> にご記入ください (前日まで)

【プログラム4】対話型作品鑑賞プログラム

アートのヒミツ基地?! みんなで探検ツアー

【日 時】2017 年 11 月 11 日(土)、12 日(日)全 6 回・各回約 45 分・1 回 15 人程度
 【対 象】①12:00 小学校低学年向け/②14:00 小学生高学年向け/③16:00 中学生～大人向け
 【会 場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)
 【入 場 料】無料 どなたでも参加可能
 【鑑賞ツアー・鑑賞ガイドブック監修】
 大坂心・荻島銀河・天野紗里・治金わかな(京都造形芸術大学アートプロデュース学科)
 青山真樹(京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター)

2017 年メイン・アーティスト 金氏徹平

1978 京都府生まれ 京都府在住

2001 年ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(ロンドン)留学。2003 年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。プラスチック製品やキャラクターフィギュアなどのおもちゃ、雑誌の切り抜き、シールなど身の回りにあるものを素材に、コラージュ的手法で制作を行う。2009 年横浜美術館にて、同館での史上最年少個展作家となる「溶け出す都市、空白の森」等国内での発表のほか、海外での個展や企画展も多数。近年では、シンガポールビエンナーレ 2011、エルミタージュ美術館での企画展「Mono No Aware. Beauty of Things. Japanese Contemporary Art」(2013-14)参加、北京での個展「Towering Something」(2013、ユーレンス現代美術センター)など。また、2011 年『家電のように解り合えない』(作・演出:岡田利規、出演:森山開次)、2013 年、ARICA+ 金氏徹平『しあわせな日々』(あいちトリエンナーレ 2013 にて初演)にて舞台美術を手がける。MASK では、2016 年から展開する国内外のプロジェクトと連動させ、それらを集結させるプロジェクトとして、北加賀屋でのフィールドワーク・滞在制作後、千鳥文化を含めた北加賀屋エリア一帯をつなぐ作品を展開する。



左)《White Discharge(公園)》2017 MASK 新規収蔵作品 (第9回恵比寿映像祭出展作品)

右)2017 年国際舞台芸術ミーティング in 横浜「TOWER(theater)」(2人:舞台映像デザイナー・山田晋平、俳優・青柳いづみ、金氏徹平のユニット)舞台美術資料提供:金氏徹平



左)《White Discharge(公園)》は、使用されなくなった遊園地の遊具を再構築したもので、MASK で約2ヶ月にわたり滞在制作された。

右)2016 年に、「金氏徹平のメルカトル・メンブレン丸亀市」(猪熊弦一郎現代美術館)にて展開された作品が、MASK で再構成される。

《Games,Dance and the Constructions(Color Plywood)#1》立体・2015 年

《Greenhouse for something》立体・2015 年、《ZONES(スケートパーク)#2》・2016 年 資料提供金氏徹平



左《Games, Dance and the Constructions (Color Plywood) #1》2015、スクリーン・プリント、木 800×120×3.5cm
 右《Greenhouse for something》2010 ミクストメディア 201×174×103cm



《Splash and Flake (Pipeline/Kitakagaya)》
 ※2014年11月、MASKにて滞在制作
 2014 Wood, Plastic and Steel Found Objects dimensions variable
 撮影: 仲川あい

参加作家・MASK 収蔵作品一覧(五十音順)



撮影:仲川あい

宇治野宗輝

《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD, THE HOUSE》2015
 ※2015 年 10 月、MASK にて滞在制作
 家電機器、木、鉄、ミクストメディア
 400×800×700cm(展開時)
 【建築設計】dot architects、片岡慎策



撮影:守屋友樹

久保田弘成

《大阪廻船》
 2013 プレジャーボート、鉄、エンジン、ステッカー
 400×380×550cm



撮影:仲川あい

名和晃平

《N 響スペクトル・コンサート「Tale of the Phoenix」舞台セット》
 2015 mixed media
 dimensions variable



撮影:守屋友樹

やなぎみわ

《ステージトレーラー「花鳥虹」》
 2014
 1,021×652×1,129cm(展開時)



撮影:守屋友樹

ヤノベケンジ

《ジャイアント・トラヤン》2005 アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール
 720×460×310cm
 《ラッキードラゴン》2009 船、アルミニウム、FRP、他 1,000×450×1,530cm
 《サン・チャイルド》2011 FRP、鉄、ネオン、他 620×444×263cm ほか

■会場概要



撮影:守屋友樹

MASK(MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

鋼材加工工場・倉庫として使われていた建物をそのまま活用。床面積約 1,030 m² (52.5×19.5m)、高さ 9.25m。事務所跡を改装したホワイトキューブ(展示スペース)と簡易レジデンスを併設。各地の芸術祭などに出展された大型の現代美術作品は、保管場所の確保が難しく、会期終了後に解体や廃棄を余儀なくされるケースが多い。このような状況に一石を投じ、大阪の創造環境の向上に寄与したいとの思いから、おおさか創造千島財団は、大型作品を無償で保管・展示する「MASK」を 2012 年より運営している。



ドキュメント撮影・記録:下道基行

千島文化

かつてこのエリアが造船業で活況を呈していた時代に、造船業に従事していた工員達の住処であり、また飲食店や理髪店なども入居する日常生活の場であった。旧文化住宅を、往時の趣を残したままリノベーションし、食堂やバー、ギャラリー、古材バンク等から成る新しいクリエイティブ拠点として8月26日にオープン。

Open Storage 2017 取材お申し込み (FAX 送信)

=====

一般財団法人おおさか創造千島財団 事務局 担当:木坂、加藤 行

FAX:06-6681-6188/Email: mask@chishimatochi.info

取材内容

※御希望日程に☑をご記載ください。

☐ 1.「Open Storage2017」内覧会

【会場】①MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48

②千島文化 大阪市住之江区北加賀屋 5-2-29

【日時】2017 年 11 月 2 日(木) 13:00-15:00

☐ 2.「Open Storage2017」一般公開

【会場】①MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA) 大阪市住之江区北加賀屋 5-4-48

②千島文化 大阪市住之江区北加賀屋 5-2-29

【日時】2017 年 11 月 3 日(金)～26 日(日) 金土日祝のみ、計13日間 金土日祝のみ

☐ 3. 【プログラム1】オープニングトーク

【日時】2017 年 11 月 3 日 (金)17:00-18:00

【会場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

☐ 4. 【プログラム2】作品関連企画「おもフェス-FESTIVAL OMOIDE-」

【日時】2017 年 11 月 18 日 (土)

【開演】14:00 ※開場は開演の 30 分前

【会場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

5. 【プログラム3】作品関連企画 ゲストトーク

☐ A:2017 年 11 月 25 日(土) 15:00～17:00 ゲスト:青木淳(建築家) 、モデレーター:家成俊勝(dot architects)

☐ B:2017 年 11 月 25 日(土) 18:00～20:00 ゲスト:山下敦弘(映画監督)、モデレーター:九龍ジョー(ライター)

☐ 6.【プログラム4】対話型作品鑑賞プログラム

【日時】2017 年 11 月 11 日(土)、12 日(日)全 6 回・各回約 45 分

【対象】①12:00 小学校低学年向け/②14:00 小学生高学年向け/③16:00 中学生～大人向け

【会場】MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)

取材日時	月 日 () 時 分 ～ 時 分
御社名	
所属・部署名	
媒体名	
お名前	
お電話番号	
メールアドレス	
同行者様	